

平成29年8月28日(月) 11:10～
大田スタジアム

2017年度東京都企業秋季大会
準決勝

VS

NTT東日本

初回、2回と無得点に終わった打線は3回、9番・新城のヒット、1番・吉田の四球、2番・木田の死球で1死満塁の先制の絶好のチャンスを作る。ここで続く3番・宮川がセカンドゴロに倒れるもゲッツー崩れの間に新城が生還しヒット1本で1点を先制する！

追加点を挙げて好投の大久保を援護したい打線は6回、先頭の2番・木田がレフト線への2塁打で出塁すると、3番・宮川がきっちり送りバントを決め1死3塁のチャンスを作る。続く4番・増野がレフトへの犠牲フライを放ちこの回もヒット1本で鮮やかに1点を追加、2点差に広げる！

1点差に詰め寄られた9回、1死から代打・加藤が四球を選んで出塁すると、走塁のスペシャリスト・手銭が代走に起用される。その手銭が見事盗塁を決め1死2塁のチャンスを作る。しかしここは後続が続かず追加点は挙げられず、1点差のまま試合は最終回に入る。

【試合経過】

チーム名	イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
明治安田生命	安打	0	0	1	0	0	2	0	0	0	3
	得点	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
NTT東日本	安打	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	得点	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	安打	1	0	2	1	1	1	2	1	1	10

先発の大久保は初回、先頭打者にヒットを打たれるも後続をゲッツーに打ち取るなど無失点の立ち上がり。先制した直後の3回には1死1、3塁の同点のピンチを迎えるがここも無失点で切り抜けリードを守る！

先発の大久保は毎回走者を背負う苦しいピッチングながらも要所を締めて相手に得点を与えない。7回には無死1、2塁のこの試合最大のピンチを迎えるが、送りバント失敗とセカンドゴロゲッツーでここも無失点で切り抜ける！

8回も先頭に2塁打、続く打者の内野ゴロで1死3塁のピンチを招くと、続く打者にレフトへの犠牲フライを打たれ1点を返される。1点差のまま9回のマウンドに上がった大久保は2死から2塁打を打たれて同点のピンチを作るが、最後の打者を三振に打ち取り、149球の熱投で見事完投勝利を挙げた！

各選手成績は下段の表をご確認ください。

【打撃成績】

打順	守備	選手名	所属	打席	打数	安打				打点	盗塁	犠打	四死	打率	
						計	単	二塁	三塁						本塁
1	6	吉田	総合法人第五部	4	3	0							1	0.000	
2	5	木田	所沢支社	4	3	1		1					1	0.333	
3	8	宮川	上野支社	4	1	0				1		1	2	0.000	
4	9	増野	川崎支社	4	3	0				1		1		0.000	
5	7	竹内	町田支社	4	4	1	1							0.250	
6	DH	泉澤	武蔵野支社	3	3	0								0.000	
	H	加藤	八王子支社	1	0	0						1		#DIV/0!	
	R→DH	手銭	総合法人第四部	0	0	0				1				#DIV/0!	
7	3	大野	池袋支社	4	4	0								0.000	
	3	島田	八王子支社	0	0	0								#DIV/0!	
8	2	森川	横浜支社	4	4	0								0.000	
9	4	新城	新宿支社	3	3	1	1			1				0.333	
計				35	28	3	2	1	0	0	3	1	2	5	0.107

【投手成績】

登板	選手名	所属	勝敗	回数	打者	球数	安打	三振	四死	失点	自責	防御率
先発	大久保	立川支社	○	9	36	149	10	5	1	1	1	1.00
計				9	36	•	10	5	1	1	1	1.00